

関西支部主催「見学会&セミナー」の報告

開催日時：11月14日(木) 12:45~17:00

見学先：人と防災未来センター

参加者：11名

人と防災未来センターの東館、西館を見学。阪神・淡路大震災追体験フロアで震災状況を再現したシアター視聴や震災に関する様々な展示を見学。また近い将来発生する南海トラフ地震や東日本大震災発生のメカニズムを分かりやすく理解でき、1人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけることができました。

セミナーでは行司講師から「能登半島地震からまもなく1年、南海トラフ地震にいかにも備えるか」のテーマで能登半島地震被害地での支援活動の実体験報告、能登半島地震での経験・教訓をいかに次に活かすのか、今後発生が予想される南海トラフ地震にどう備えるか、防災と減災についてご講演いただきました。水谷講師からは「避難所におけるTKB(トイレ、キッチン、ベット)の重要性について～災害関連死を防ぐキーワード～」のテーマで、東日本大震災以降の段ボールベッド展開を始めとした取り組みについて講演いただきました。また避難生活環境をできるだけ日常に近づけ、災害関連死を防ぐための課題や視点(TKB48時間導入する仕組み)の解説と先進的な避難所運営に取り組んでいるイタリアの事例を紹介いただきました。

セミナー終了後、参加者から多くの質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。

今回の「見学会&セミナー」は大いに盛り上がった有意義な事業になりました。

※ipp news138号(IPPHP25年2月掲載)“関西だより”にセミナーの内容を掲載しておりますのでご覧ください。

◆人と防災未来センター（会場内レイアウト図）



◆見学の皆様



◆開催の挨拶(桃川支部長)



◆行司講師



◆水谷講師



◆見学会参加の皆様



◆交流会参加の皆様

